

# 会議録

日時	令和3年12月7日(火)14:00~16:00
場所	総合文化センター 視聴覚室
件名	令和3年度 第5回社会教育委員会定例会
出席者	社会教育委員：小栗正敏、山田秀樹、安藤隆宏、酒井周文、安藤徳善、岩島留美子、小木曾恵美、 有賀秀雄、伊藤孝一、浅沼克郎、田口宏二 市関係者：小栗茂(中央公民館長) 事務局：松井克仁(社会教育課課長補佐)、川畑篤仁(同主事)
議題	<p><b>1 あいさつ</b></p> <p>代表 新聞記事に「高齢者にはきょうようときょういくが必要」というのを見た。「今日用事(きょうよう)がある」「今日行く(きょういく)ところがある」という意味である。地域学校協働活動にも通じることで、現状では、学校から地域に「このような行事があるので協力してください」という要請型の支援となっているが、もっと進めてこちらから学校へ出かけていく「押しかけ」型の支援になるといいなど考えている。地域の方が学校へ出かけたときに、先生方が喜んで迎えてくれる体制づくりに寄与できたらいいと思う。</p> <p>前回教育長から、校長会・教頭会でも提言書を説明して理解を広めてほしいとお話をいただいた。2月の定例会最終回までに提言書のまとめをしたい。限られた時間であるがご協力をお願いしたい。</p> <p><b>2 提言の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各地区の提言及び調査結果等について、3つのグループに分かれて検討する。</li><li>グループ A 土岐地区・日吉地区について</li><li>・子どもたちを送り出す保護者の方にも、地域で子どもたちを育てるという意識を持ってほしいと考えている。</li><li>・学校運営協議会で決めたことを実行するために動けるのであれば地域学校協働活動本部は設置する必要はないと考える。新たな組織を担う人数が地域に限られるということもあるし、まちづくり推進協議会というしっかりした既存組織があるので支障はないと思う。土岐地区、日吉地区もまちづくり推進協議会を中心に活動していくのがいいと考える。</li><li>・学校、地域、保護者、子どもたちからアンケートを取って、活動のニーズを探るとよいと思う。</li><li>・学校を拠点にしようとする、土日休日も学校に入れるようにしないといけない。他自治体の事例では、空き教室を利用して地域学校協働活動本部の人が出入りできる仕組みづくりをしているところもある。ある高校の例だが、保護者の方など地域の方が教室を利用することで生徒の非行防止の一助になっているとも聞いた。学校の敷居が高いという意識を和らげたい。</li><li>・この機会に、地域の方が学校に出入りがしやすくなるようになってほしいと考えている。例えば、日吉小学校は下校時間帯のバスが来る待ち時間に先生が子どもと一緒に待っている。そういった見守り活動などを地域の方がやれば、学校の負担も減る。ただし、学校の負担が減るということは、保護者や地域の方の負担がその分増えるということ。会議や研究会など先生が忙しい時に、地域の方が入っていけるような体制はできないことはないと思う。日常で子どもが地域の方と触れ合い、地域にお</li></ul>

世話になっているという実感を得る機会を増やしたい。

#### グループ B 瑞浪地区・陶地区について

- ・資料をまとめることで地域の現状について知ることはできるが、地域へ愛着を持ってもらえる文章にしたい。
- ・学校においては授業協力のような形で地域の方に学校から依頼をして学校行事に参加してもらうような事例はあるが、地域での芋ほりなどの行事には学校は直接関わってきていない。これからは地域主体の事業を学校が利用していただく形になるとよい。
- ・地域学校協働活動については既存の活動を基本として、目指す子どもの姿とすり合わせながら企画していくとよい。地域主体の活動を一つでも二つでも起こしていただければ。
- ・私見ではあるが、いずれ部活動が任意加入化となった場合に、受け皿となるような地域主体のスポーツクラブ（地域学校協働活動の目標に沿った活動）があれば、地域が主体となって子どもの成長に関わることができるとよい。
- ・地域学校協働活動本部の中に、中心となって動く推進員を置いて、手当をしっかりと確保することが必要だと思う。ボランティアでは物事が進まない場面も出てくるかもしれない。
- ・拠点については、はじめのうちは決めなくてもいいのでは。
- ・地域学校協働活動の観点からいうと、小中合同で目指す子どもの姿や活動を考えていくことはとてもいいことだと思っているが、学校運営協議会の視点からいうと小中9年間の目標を一本で立てることに不安がある。小学校1年生から6年生でもだいぶ発達段階が違うため。
- ・地域の行事でも、皆さん仕事でやっているわけではないから、目指す子どもの姿に沿った活動がきちんと発足できるか不安がある。既存の地区行事の中に目標に沿ったものがあればいいが、今ある活動をいかに利用するか、目標達成のためにどのように活動を位置づけるかが大事。

#### グループ C 稲津地区・釜戸大湫地区について

- ・地域学校協働活動本部を新たに立ち上げるのか、学校運営協議会を母体にするのか現時点では迷うが、型にとらわれず、学校運営協議会の中で活動を進めていけばいいのではないかと考える。
- ・ゆくゆくは学校運営協議会の中の部会を本部として機能させるのがいいのではないかと考えている。
- ・現状学校からの要望に応える形で活動しているので、地域の方からいろいろ提案してタイアップしていきたいと考えている。地域の意識を変えることも必要。
- ・教員の働き方改革等もあるので、先生方の負担が極力増えないようにすることも必要。授業の補助のような形で地域が関わっていく方法もあるのでは。ただし、学校が助かる、楽になるだけでなく、地域と子どもにメリットがあるという視点をもつ。
- ・活動拠点は学校の空き教室などに設置したい。学校が難しければコミュニティーセンターに設置するほかないが、学校にあったほうが連絡等とりやすいと考える。活動をとりまとめる推進員についても、人材を地域で育てていく必要がある。
- ・本部の人選については、充て職がどうしてもあるかもしれないが、ある程度腰を据えて活動していただけた人が事務局の中心に入っていただければ一貫性のある活動を作っていただきたい。

代表 検討していただいた中で、すでに学校運営協議会が立ち上がっている釜戸大湫、稲津地区では、学校運営協議会をベースに活動をスタートした方がよいという意見があった。そうすると組織の中の企画会議、企画委員会が将来的に地域学校協働活動本部として機能できるのではないかと考える。話し合いを聞いていると釜戸、稲津、日吉は進みつつあるなと感じた。あとはそ

それぞれの動きを調整する役割の人が必要。他の地区は、もっと主導していく人、積極的に働きかけていける人が必要になる。あとは費用の問題としては、財政には限りがあるので、どこかで報酬・手当を支払うボーダーラインを決めておく必要がある。いずれにしても非常にたくさんのご提案をいただいたので、いい方向に進めていけたらと思う。

子どもの安全について、今でも交通安全活動や登下校時の挨拶運動といった学校外での活動で地域が関わっている。校内ではどうかというと、過去に生じた凶悪事件によって門扉が閉じられている。子どもの安全に最も効果があるのは「地域の人が見ていること」。学校の中に地域の人が常時いるということが子どもの安全には良い。以前、警察官を退職された地元の方に、校庭をお貸しして畑仕事をしてくださいとお願いしたことがある。そうすることで、来校者に声かけもできるし、子ども達も興味を持って会話が生まれる。皆さんも学校へ行かれた際にはいろいろな提案をしていただけたらありがたい。

地区独自の公民館を持たない地区については、可能であれば学校の中に活動拠点があるとよいというお話が多かった。これは教育委員会にも強く要望していただきたい。もし空き教室がないようであれば、例えば図書室に入らせてもらうこともいいのではと考えている。学校側にも、地域の人がいてくれて安心だと思ってもらえる機会を増やせばいいかなと思う。ただし、守秘義務は徹底する(子どもたちの個人情報から、能力の差など日常的に目に触れる情報)。

#### (提言書について)

意見 「提言書」というと重みのある印象があるが、経過報告というか各委員の思いや感想を取り入れればいいのか。

事務局 皆さん各地区から社会教育委員として2年間活動していただいて、研修も多く受講しているので市のスペシャリストと考えている。また多くの委員が学校運営協議会の委員として活動している。地域学校協働活動や学校運営協議会をどのような形にしていきたいか調査して作っていただいているのでそれをまとめて提言書としていきたい。

代表 社会教育委員として、市教委の諮問を受けて提言をするという文言から提言書としている。「～しなさい」という権限は我々には与えられていない。あくまで「意見を述べることができる」とされているだけ。社会教育委員個人で市教委に意見を述べることも法規上可能だけれども、委員の総意として提言書を届けた方が声を大きくすることができる。「このように事業を進めていただければありがたい」という意味合いで提言書としてまとめていければと思う。

#### 4 今後の見通しについて

第5回 12月7日(火) 提言についての検討①(作成段階の提言の交流)

第6回 1月18日(火) 提言についての検討②

各会議等より報告(社会教育振興協議会、青少年育成市民会議、美術展運営懇談会、図書館協議会、教育委員会点検評価委員会、人権施策推進ネットワーク等)

第7回 2月17日(木) 提言の最終確認

#### 5 その他

第74回文部科学省優良公民館表彰(大湫公民館)

#### 6 事務局より

(1) 各種研修会

① フォローアップ研修(1/27)

	<p>(2) 配付物等紹介</p>
--	-------------------

	<p>(3) 次期(令和4・5年度)社会教育委員について</p>
--	----------------------------------